

滝沢市内に事業所や工場などがある法人が対象!!

令和6年度は11社、令和7年度は10社が参加しています。



たきざわカーボン



ニュートラル チャレンジ

CO2排出量の見える化から削減まで『Zeroboard』で支援します!

たきざわカーボンニュートラル(脱炭素)チャレンジとは…

滝沢市は、2023年3月に策定した第1次滝沢市環境基本計画の中で、温室効果ガス排出量について、長期展望として2050年度までに実質ゼロを目指し、直近の目標として2030年度までに2013年度比で54%の削減を目指すこととしています。

市では、事業所や店舗、工場などがある法人のカーボンニュートラルの取組を支援するため、令和8年度に、市内法人5社程度を対象に、CO2排出量を可視化するクラウドサービス「Zeroboard」を共同利用することで、カーボンニュートラルの取組をサポートします。

サポートの内容

①「Zeroboard」でCO2排出量を可視化

②CO2排出量の削減計画をサポート

③令和8年度中はすべて無料※

④脱炭素経営の基礎をしっかりと学べます

※令和9年度以降も「Zeroboard」の継続利用を希望される場合、利用料などの費用は事業者様のご負担になります。

①CO2排出量の可視化

②CO2削減手段の検討

③CO2削減の目標設定

④CO2削減の取組

チャレンジの流れ

お問い合わせ

滝沢市 市民環境部 環境課 / 電話019-656-6510

e-Mail:kankyous@city.takizawa.iwate.jp

『Zeroboard』（ゼロボード）とは



GHG（温室効果ガス）排出量算定・可視化クラウドサービス

Zeroboard（ゼロボード）



「Zeroboard」は活動量の入力またはデータ連携の設定をするだけで、企業のサプライチェーンGHG排出量の算定・可視化・削減管理ができるソフトウェアです。

- Point 01** 活動量をデータ連携・入力するだけでGHG排出量を算定・可視化
- Point 02** 算定の高度化や工数削減、ガバナンスの強化に繋がる豊富な機能
- Point 03** 省エネ法や温対法等のレポート機能



・認証取得組織：株式会社ゼロボード
・認証登録範囲：CO2排出量の算出・可視化から削減のためのソリューション提供に関するクラウドサービスの開発提供
サステナビリティ経営におけるコンサルティング



・妥当性確認対象範囲：GHG排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」（2022年1月リリース版）
・妥当性確認概要：ISO14064-3に準拠したSOCOTECにおけるGHG情報システム保証手順に基づいて基準を満たしていることの妥当性確認を実施

エクセル管理からZeroboardへ移行するメリット

エクセル管理からZeroboardへ移行されたユーザー様からもご好評です。



エクセル

| | |
|----------------|--|
| 作業時間の効率化 | 各拠点からデータを集める集計作業は複雑で膨大な時間を要する。また入力誤りなどのミスも起こりやすい。 |
| 属人化の解消 | 担当者にしかわからない計算式やルールなどがあり属人化、引継ぎが困難。 |
| 最新のルールや報告形式に対応 | 脱炭素は新しい規則の策定や報告形式の変更、原単位の更新など、アップデートが多く担当者の負荷が大きい。 |
| 算定データの有効活用 | 年次・会社単位の報告のため、削減の際に分析が難しく、報告のための計測に終始。 |



Zeroboard

| | |
|----------------|--|
| 作業時間の効率化 | 各拠点ごとにデータを入力してもらうことで集計作業を簡略化。誤入力検知などの機能でミスを軽減。 |
| 属人化の解消 | 共通の操作で管理できるため、引継ぎがスムーズに。 |
| 最新のルールや報告形式に対応 | 最新のルールや報告形式へアウトプットや原単位の更新はZeroboard側で自動的にアップデート。 |
| 算定データの有効活用 | 月次・拠点単位で管理するため、排出量の多い部分が把握でき、その先にある削減施策に繋げやすい。 |